

山弓連 令和6年第3号

令和6年12月 発行：山梨県弓道連盟

全国大会結果

第75回 全日本遠的選手権大会

令和6年10月26日、27日

栃木県 ヲウケイ武道館

9月1日行われた県内選手選考会にて選考された男女4名が出場。出場選手の中で、内藤 良太選手が予選6射5中で決勝に進出。

決勝では10射8中と健闘したが、惜しくも入賞はできなかった。

出場選手

男子 上条 剛央 鎌六 上野原
 内藤 良太 鎌六 南アルプス
 女子 根津 里美 鎌六 笛吹
 大野 陽子 五 南アルプス

県内大会結果

山梨県体育祭り弓道競技

令和6年9月15日(日) 小瀬武道館弓道場

コロナ禍前の一同に会しての開催となり、以前の賑やかさが戻った大会となった。

(団体成績)

市の部 男子				市の部 女子			
順位	市名	的中数	競射結果	順位	市名	的中数	競射結果
1位	甲府市	21		1位	笛吹市	14	
2位	甲州市	20		2位	南アルプス市	12	
3位	笛吹市	19	4中	3位	北杜市	11	
4位	甲斐市	19	2中	4位	山梨市	10	0中 2中
5位	南アルプス市	18	3中 3中				
6位	上野原市	18	3中 1中				
7位	北杜市	17	5中				
8位	都留市	17	3中				

町村の部 男子				町村の部 女子			
順位	町村名	的中数	競射結果	順位	町村名	的中数	競射結果
1位	富士河口湖町	12		1位	富士河口湖町	11	
2位	市川三郷町	9		2位	昭和町	6	
3位	南部町	7					

(個人成績)

市の部 男子						
順位	氏名	市名	的中数	競射結果	結果	
優勝	田中 友裕	富士吉田市	7	〇〇		
2位	上条 剛央	上野原市	7	〇×		
3位	石原 智仁	笛吹市	7	〇×		

2位・3位 2名による遠近競射

市の部 女子						
順位	氏名	市名	的中数	競射結果	結果	
優勝	大和田 幸子	南アルプス市	6	×	〇	
2位	山本 栄子	北杜市	6	×	×	
3位	坂牧 梨沙	笛吹市	6	×	×	

2位・3位 2名による遠近競射

町村の部 男子						
順位	氏名	町村名	的中数	競射結果	結果	
優勝	渡辺 啓和	富士河口湖町	7			
2位	佐野 茂文	南部町	6			
3位	有泉 亮汰	市川三郷町	4			

町村の部 女子						
順位	氏名	町村名	的中数	競射結果	結果	
優勝	伏見 雅子	富士河口湖町	6			
2位	深澤 真澄	昭和町	4			
3位	川島 蒼南	富士河口湖町	3			



市の部男子優勝



市の部女子優勝



町村の部男子優勝



町村の部女子優勝

いきいき山梨ねんりんピック大会

令和6年9月21日(土) 小瀬武道館弓道場

射数 4矢3回 12射

参加申込人数 34名

順位	氏名	支部名	段位	的中数
優勝	大和田 幸子	南アルプス	五段	10中
2位	小澤 幸男	富士吉田	参段	9中
3位	佐々木 重雄	大月	五段	9中

2位、3位は遠近競射による

最高齢者賞

男性 鈴木 茂雄 92歳 大月支部
 女性 小林 睦美 81歳 北杜支部



入賞者



最高齢者賞



社会人の部 入賞者

国スポ選手壮行交流射会

令和6年9月22日(日) 小瀬武道館弓道場

SAGA 国スポへの出場が決まった少年女子チームの壮行会を兼ねた高校生・社会人交流射会が開催された。

少年女子チームの演武の後、高校生、社会人が同一地域ブロック毎に立つ形での射会が行われた。

参加申込人数 77名 参加者 72名

射数 4矢2回 計8射

第38回 山日YBS杯争奪 山梨県弓道選手権大会

令和6年9月22日(日) 小瀬武道館弓道場

【女子の部】

参加申込人数 44名 参加者 44名

順位	氏名	支部名	段位	予選的中数	競射結果								
優勝	渡辺 律子	富士吉田	三段	2	○	○	×	×	×	×	×	×	×
2位	山口 巳和子	甲府	五段	4	○	○	×	×	×	×	×	×	×
3位	鶴田 陽子	山梨大医	三段	3	○	×							

予選通過者：16名

1,2位射詰8回後遠近競射 3位は4名による遠近競射

【男子の部】

参加申込人数 73名 参加者 67名

順位	氏名	支部名	段位	予選的中数	競射結果								
					36cm的				24cm的				
優勝	川端下 脩生	山梨大	無	3	○	○	○	○	○				
2位	藤江 好文	大月	四段	2	○	○	○	○	×				
3位	長澤 和久	南7A7ス	五段	3	○	○	○	○	×				
4位	上田 泉	甲府	四段	3	○	○	○	×					
5位	月本 祐希	山梨大	初段	2	○	○	○	×					

予選通過者：34名

2位、3位は遠近競射 4位、5位は2名による遠近競射

【称号の部】

参加申込人数 40名 参加者 36名

順位	氏名	支部名	称号段位	予選的中数	競射結果								
優勝	上條 剛央	上野原	錬士六段	3	○	○	○	○	○				
2位	関 浩道	甲府	錬士五段	4	○	○	○	○	×				
3位	中村 昌夫	山梨	教士六段	3	○	○	×						

予選通過者：19名

高校生の部

順位	氏名	高校名	学年	的中数	競射結果
優勝	松岡 佑希	韭崎工業	3年	8	
2位	岩下 侑生	甲府南	2年	7	遠近競射による
3位	廣瀬 花楓	甲府第一	2年	7	
4位	河西 駿輔	甲府第一	2年	7	
5位	山本 萌衣	富士北陵	3年	6	
6位	山本 菜菜	巨摩	3年	5	
7位	磯野 弦正	富士北陵	2年	5	
8位	田村 祐希	甲府第一	2年	5	遠近競射による
9位	岩森 咲良	山梨学院	3年	5	
10位	古屋 和聖	甲府東	2年	5	

社会人の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	内藤 良太	南アルプス	錬六	7	
2位	立和田 学	中央	三段	6	遠近競射による
3位	原田 智秀	都留	参段	6	
4位	渡辺 洋	中央	錬六	5	4名による遠近競射による
5位	標 輝人	教職員	教七	5	



高校生の部 入賞者



女子の部

男子の部





称号の部



峡南ブロック代表者による演武

令和6年度 納射会

令和6年12月15日(日)小瀬武道館弓道場

令和6年度の締めくくりの納射会、総務部長の中村 昌夫 教士六段の矢渡しで開会。

峡東ブロック代表者、峡南ブロック代表者による演武が披露された。

競技には昨年に続き100名を超えるエントリーがあり、一手の納射と四ツ矢1回の計6射で競技が行われた。

結果は以下のとおり。

射数 納射一手と四ツ矢 計6射
参加申込人数 103名 参加者 94名

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	坂牧 雅夫	笛吹	四段	6	5中者6名による遠近競射
2位	大野 晃史	南アルプス	五段	5	
3位	内藤 良太	南アルプス	錬士六段	5	



矢渡し 中村 昌夫
教士六段



介添え 峡中ブロック代表者



入賞されたみなさん



峡東ブロック代表者による演武

支部だより

第45回 川中島合戦戦国絵巻 弓隊出陣

令和6年11月4日(日) 笛吹川河川敷
本年も弓隊による演武が開催されました。9月から募集し37名と多くの方に参加していただきました。2回目ということもあり、細かい打合せもなしでいざ本番。昨年より風船の数をふやしたり、射距離を35mにするなどの調整をしました。武田軍、上杉軍に分かれ菊池総大将の号令に

より一斉に矢を放つこと五回で武田軍が先にすべての風船を割り、無事演武を終えることができました。初めて参加された方、2回目の方も鎧姿を楽しんでいました。参加された皆さんありがとうございました。 笛吹支部長 坂牧 雅夫



講習会レポート

関東南地区指導者講習会 受講レポート

錬士六段 小岱 良子

令和6年度関東南地区指導者講習会が、神奈川県立武道館弓道場にて6月22日(土)、23日(日)の2日間の日程で開催された。

はじめに関東地域弓道連盟連合会会長の窪田史郎先生よりご挨拶をいただいた。以前は育成指導者講習会と指導者講習会の二会場に分かれていたものをまとめて南地区指導者講習会としたとのこと説明があった。今回の受講生は錬士五段から教士七段まで、射技も体配も相当の格の差は受講生自身も感じとっていた。それぞれの学んだままを地連に戻って多様な受け取り方、指導内容が報告できるのではないかと言われたように思う。主任講師は茨城の久保田清先生、ほか神奈川県弓道連盟会長の依田敏和先生、東京第1地区の斉藤住子先生。三人の先生方からご指導をいただけるのだと思うと身が引き締ってきた。

一手行射では、全体的な講評を斉藤先生から頂いた。「呼吸(息合い)と動作が合っていない人が多い。生気体の維持が錬士五段ではまだまだなところがある。また残身(心)にしても段位の違いがはっきりと見てとれる。弓を力で引こうとするのではなく、身体を使って、体幹つまり骨でひくようにすると良い。身体で言えば「下実虚上」下半身は足の裏から内転筋を使って下からの力で縦線を、肩、肘で横線を使えるようにして欲しい。」と。

依田先生からは「正射必中と言って、弓はやりの中が必要だ」と。その為の組み立てをきちんとしなければならない。組み立てとは射法八節であり、これをよく理解すること。弓手は手の内のつぶれてしまう人が多い。この時弓手の手の内の拇指は伸ばした方が、拇指球筋が固くなって正しい弓返りにもつながるので、これをよく指導して欲しい。大三をうまくとれると引分けがしやすくなり、結果につながるので、大三をよく研究すること。一つ一つの動作にはくじりがある。残身(心)を大切に。

久保田先生からは「胴造りがきちんとできていない人がいる。縦線は背筋と頂を真っすぐに整えて、横線は肩が固まると弓を引く筋肉の自由が効かなくなるので、円相にして打ち起こし、引分けは肩に響かないところでゆったりと左右均等に引けるようにしてはどうか。教本の赤い矢印と網掛けの部分は大切なところなので良く工夫すること。また手の内が正しくできないと三重十字ができないようになる。正中とは正しく引いて矢筋に離れること。その時丹田で離れなければならない。手先だけの射に見られないように。物見も正しく向いていないと圧迫されて身体の各部がよく働かない。頂は真っすぐに伸ばすことが重要で、縦線のしっかりした射型に繋がる。妻手は弦に執られなさい、肩に乗せなさい、返しなさい、と妻手の働かせ方についても話された。

以上の内容をよく頭の中に置き、一つの射礼、射技指導、まとめの行射等を行った。

何度も繰り返しご指導をくださった先生方に感謝の言葉しかない講習会だった。覚えのよくない自身の体によく言い聞かせていただきありがとうございました。

編集後記

今年も慌ただしく過ぎすうちに1年が過ぎてしまった。ただ関プロ開催という大イベントは記憶に残るでしょう。皆さん良いお年をお迎えください。

koho39ren@kyudo-yamanashi.com (綿奈部)